



鉄道係員に対する暴力行為の件数・発生状況について (2024年度上期／大手民鉄16社)

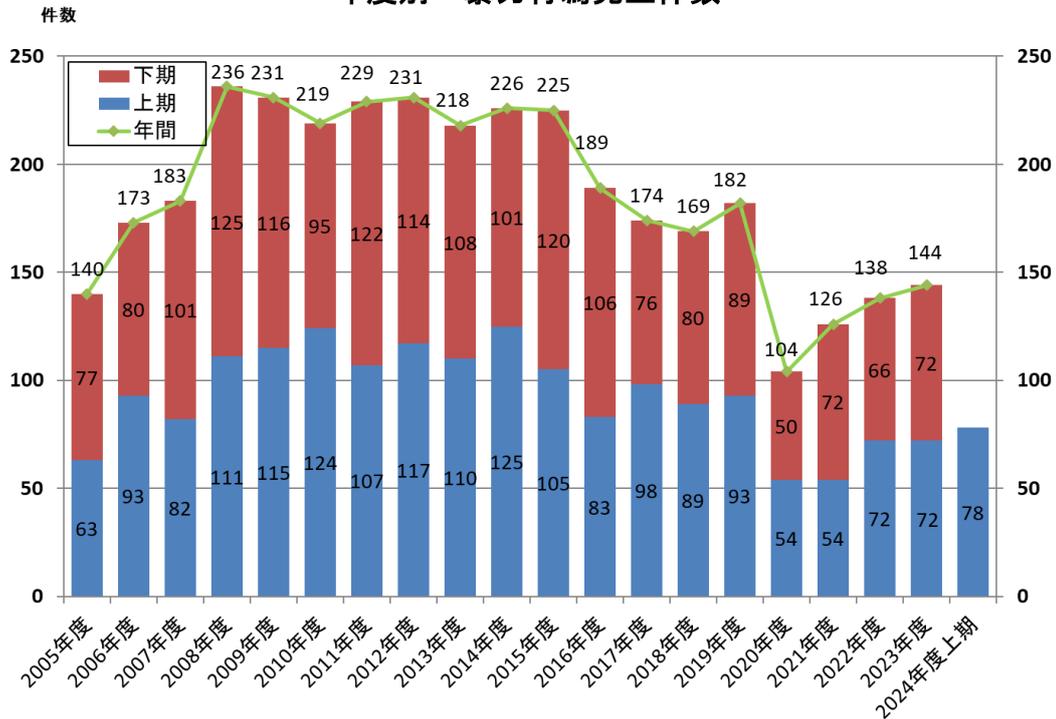
一般社団法人日本民営鉄道協会（事務局：東京都千代田区、会長：原田一之）では、大手民鉄16社（東武、西武、京成、京王、小田急、東急、京急、東京メトロ、相鉄、名鉄、近鉄、南海、京阪、阪急、阪神、西鉄）における2024年度上期（2024年4月～2024年9月）に発生した駅員や乗務員等の鉄道係員に対する暴力行為の件数について集計を行ったところ、**暴力行為の発生件数は78件と、前年同期と比較し6件の増加となりました。**

昨年度下期に続き発生件数70件を超えており、依然として新型コロナウイルス感染症流行以前に迫る水準となっております。

暴力行為が発生する状況としては、鉄道係員が迷惑行為を注意した際や、理由もなく突然暴力を振るわれるケースが多く、時間帯については夜（17時～22時）、深夜帯（22時～終電）に多く発生しています。また、加害者年齢は幅広い年代に分布しており、半数以上が酒気帯び状態で暴力行為に及んでいます。

犯罪である暴力行為をなくし、安全で快適な鉄道を維持するため、当協会では引き続き啓発ポスターの掲出など各種の取り組みを実施してまいります。

年度別 暴力行為発生件数



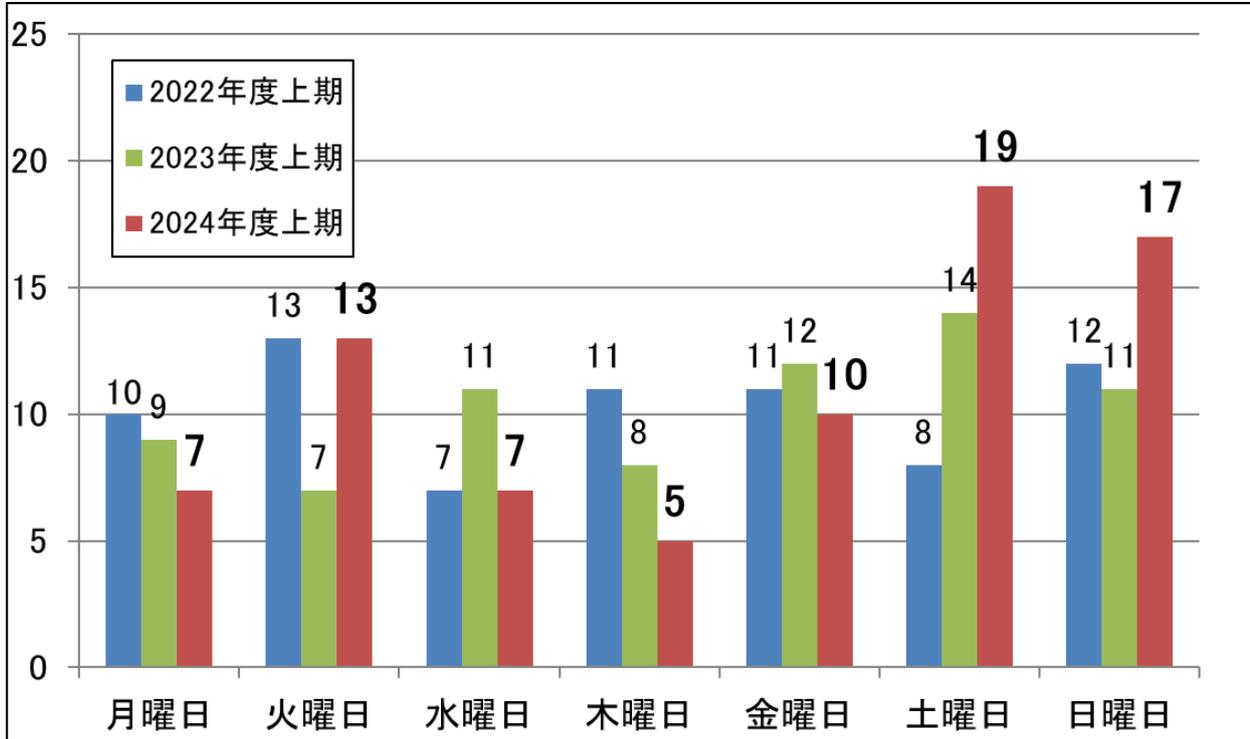
(参考) 以下の項目の集計結果を別紙にて紹介しています。

1. 曜日別 発生件数
2. 時間帯別 発生件数
3. 主な場所別 発生件数
4. 主な契機別 発生件数
5. 加害者年齢
6. 加害者の飲酒状況
7. 具体的事例

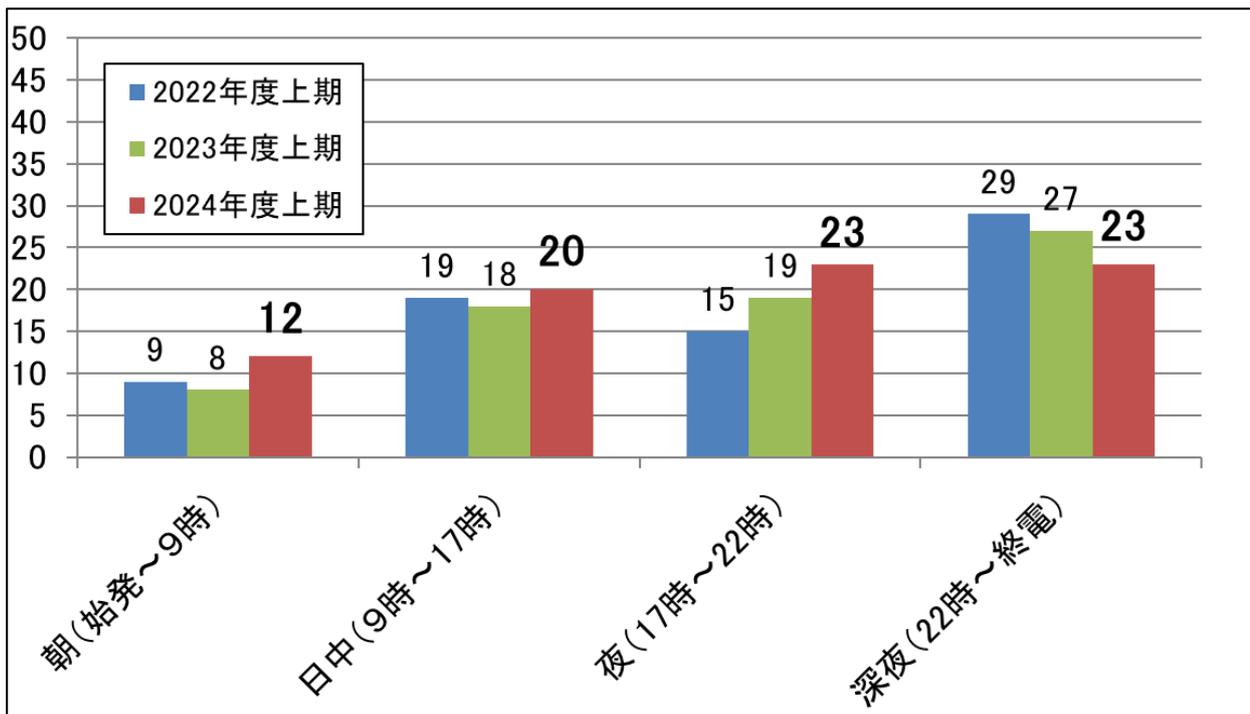
※なお、別紙に記載しておりますこと以外の詳細な内容や件数は公表しておりません。

鉄道係員に対する暴力行為の発生状況別件数・具体的事例等(詳細)

1. 曜日別 暴力行為発生件数

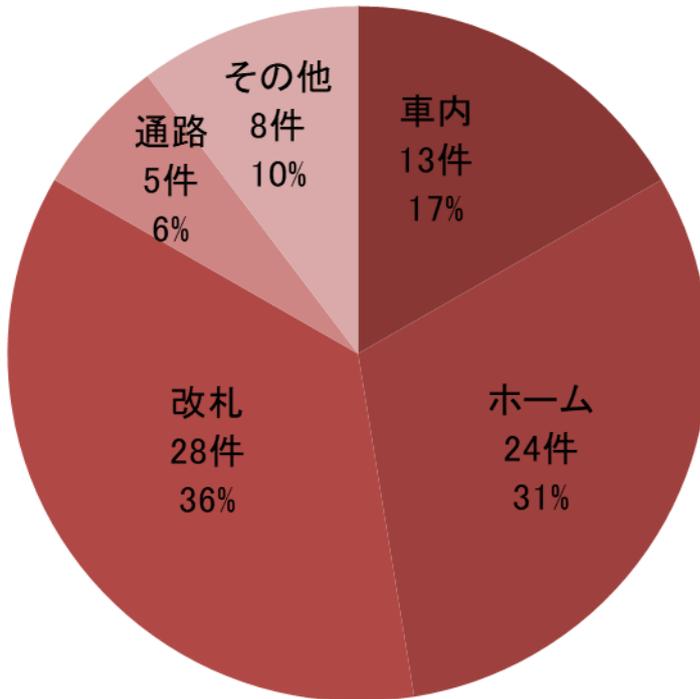


2. 時間帯別 暴力行為発生件数

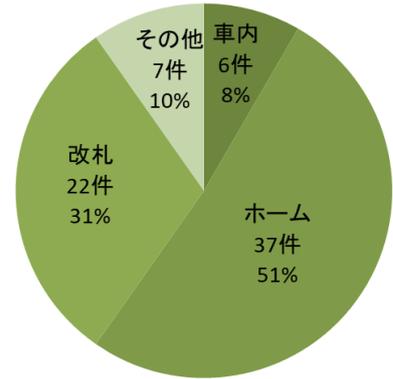


3. 主な場所別 暴力行為発生件数

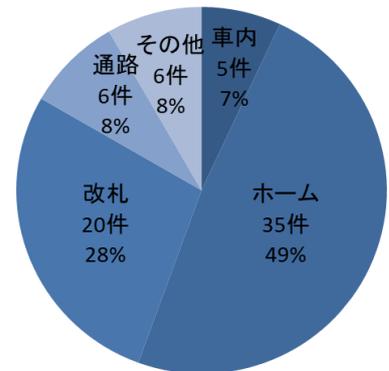
2024年度上期



2023年度上期

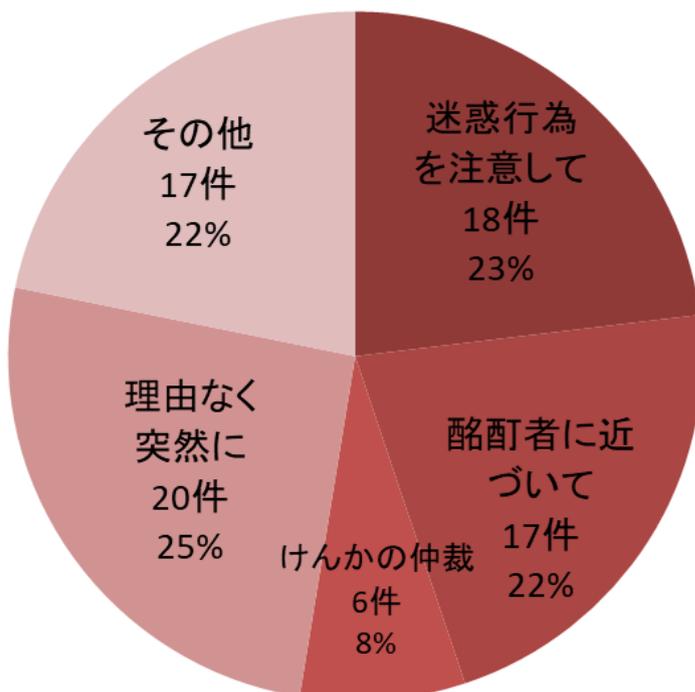


2022年度上期

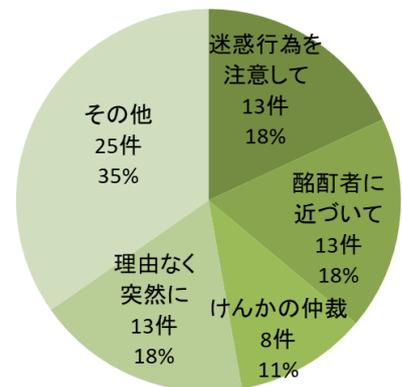


4. 主な契機別 暴力行為発生件数

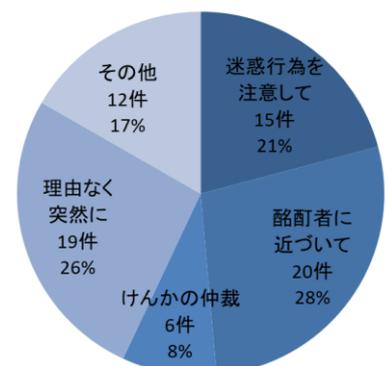
2024年度上期



2023年度上期

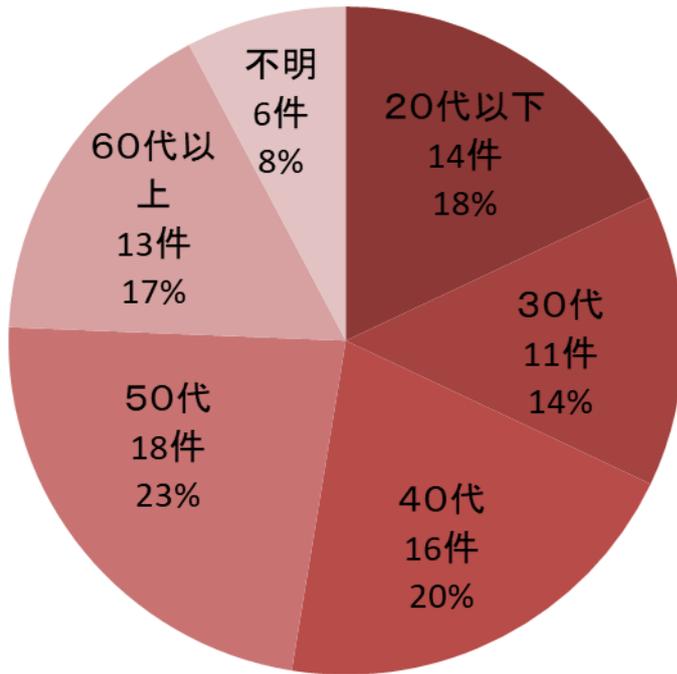


2022年度上期

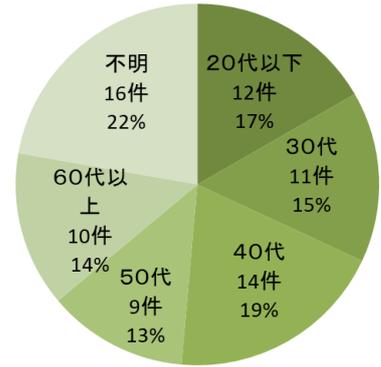


5. 加害者年齢

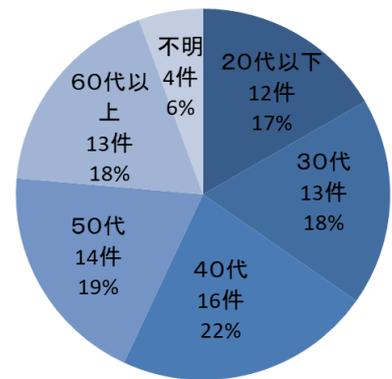
2024年度上期



2023年度上期

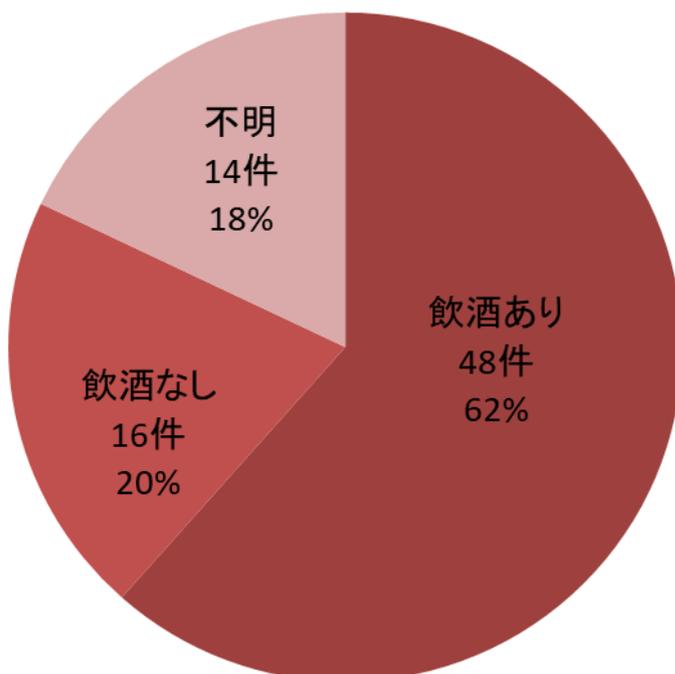


2022年度上期

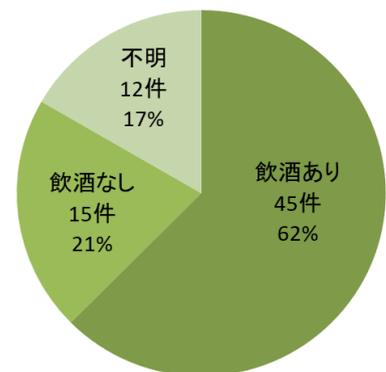


6. 加害者の飲酒状況

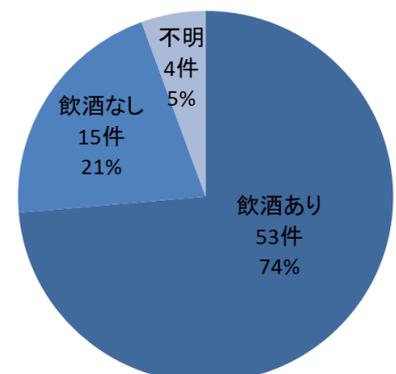
2024年度上期



2023年度上期



2022年度上期



7. 具体的事例

【事例1】

曜日	土曜日	時間帯	朝 (始発～9時)	場所	改札口
契機	迷惑行為を注意して	年齢	50代	飲酒	あり

A係員は加害者が自動改札機の閉じたゲートを無理やり通り抜けたため声をかけたところ、罵声とともに唾を吐きかけられた。駆け付けたB係員とともに加害者を制止しながら警察に通報していると、A係員は左頬を叩かれ右太ももを蹴られ、B係員は右太ももを蹴られた。

【事例2】

曜日	金曜日	時間帯	深夜 (22時～終電)	場所	改札口
契機	迷惑行為を注意して	年齢	70代	飲酒	あり

加害者がタバコを吸いながら駅構内を歩いていたため声を掛けると、悪態をつかれた。その後、駅長室に入ろうとしたため制止したところ、右膝で左大腿部を蹴られた。

【事例3】

曜日	月曜日	時間帯	夜 (17時～22時)	場所	ホーム
契機	けんかの仲裁	年齢	50代	飲酒	あり

ホームベンチにて着座していた加害者は、携帯電話で通話中の男性旅客に対し立腹した。A係員が仲裁に入るも加害者の興奮は収まらず、改札窓口に応援を要請した。A係員とB係員の2名で旅客を別々に誘導し、話を聞いていたところ、B係員が左肩上腕部付近に頭突きをされた。

【事例4】

曜日	水曜日	時間帯	朝 (始発～9時)	場所	車内
契機	酩酊者に近づいて	年齢	20代	飲酒	あり

酩酊状態の加害者が車内の床で寝ていたため声をかけた。しかし無反応だったため、右肩に触れると「触るな」と言い、右手拳で左腹部ベルト付近を殴られた。